

～ニホンザルの生態と対策実践マニュアル～

頭 脳

- 学習能力・記憶力は高い
- 試行錯誤を繰り返し学習
- 応用はきかない

食べ物

- 雑食性で植物性のもの
(特に豆類・果樹などを好む)
- 早朝・夕方が採食のピーク

生 活

- 10～100頭程度で群れを作る
- 群れは、メスザルと子ザルが中心で、集団行動する
- オスザルは、4～5歳で、生まれた群れを出る (はぐれザル)

身体能力

- 立体的な動きが得意
- 垂直で約2m跳ぶ
- 水平で約2m跳ぶ

繁 殖

- 1～2年に1回・1頭出産
(近年、農作物などを食べて、栄養状態が良くなっているため繁殖期間が短くなっている)



サル対策の基本

集落・農地にサルを寄せつけない環境づくり !!

(一人一人が、できることからやってみる)

サルに覚えさせること



集落に出没や農地で作物を食べると怖い目に遭う

隠れ場所をなくす

サル被害を受けにくい集落・農地づくり !!

- 集落や農地周辺の竹ヤブや樹木の刈り払い
- 適切に管理を行い、見通しの良い場所にする

追い払い

サルに『人間は怖い』を学習させる !!

- サルを見つけたら、農地でなくても必ず追い払う
(追い払い方法：爆竹・大きな音を出す・棒を振り回すなど)
- 爆竹の音が聞こえたら、追払いに参加する
- 山の中まで追い払う

出前講座で現地研修会を開催しましょう

ー集落全体で力を合わせて根気よくー

※ 爆竹は市役所本庁舎及び支所で無償配布

エサ場をなくす

集落・農地でエサを食べさせない !!

- 集落
 - ・ 庭先の農作物、果樹の放置
 - ・ 生ゴミの放置
 - ・ お墓のお供え物、仏花
- 農地
 - ・ 果樹(くり・かきなど)の放置
 - ・ 収穫後の残渣や廃棄した作物や果樹の放置

編集:いなべ市鳥獣害防止対策協議会

担当:いなべ市役所農林商工部獣害対策課

☎ 0594-86-7832